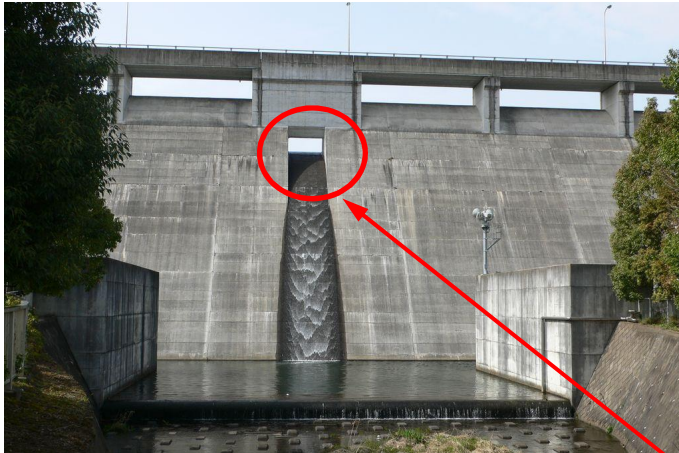
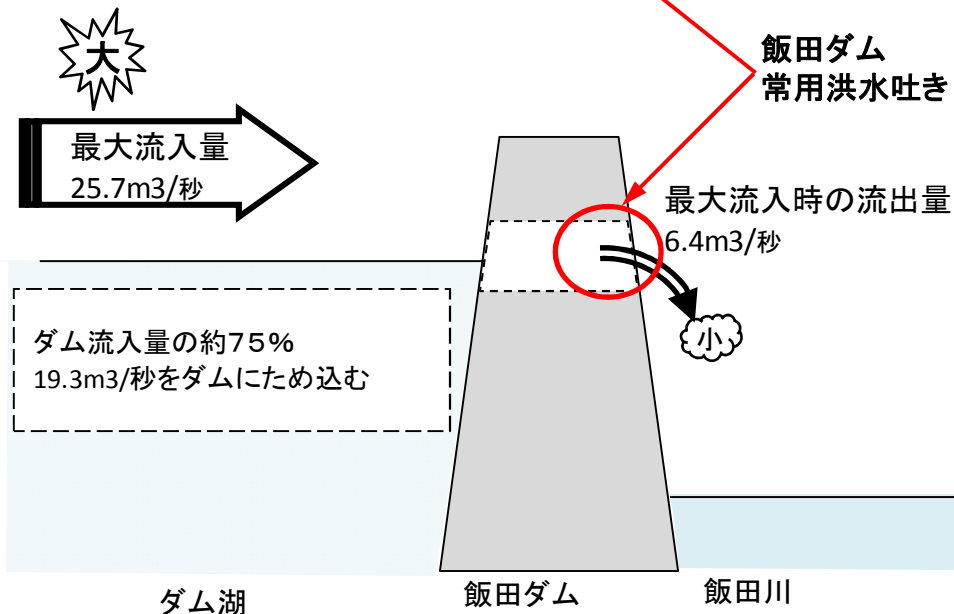


# ダム下流河川への流出量を低減

## —飯田ダムの治水効果—



- 台風18号により、10月5日から10月6日の2日間で、飯田ダム上流の石寺地点では、連続雨量246 mmの記録的な大雨となりました。
- この大雨により、**飯田ダムへは管理開始以来最大の毎秒25.7m<sup>3</sup>の流入**がありましたが、そのうち約**75%をダムにため込み、ダム下流への流出量を毎秒6.4m<sup>3</sup>に減少**させました(飯田川)。
- その結果、**下流の下市毛地点(涸沼川)で最大水位を12cm低下**させ、ダムの役割である治水の効果が現れました。



### <飯田ダムの洪水調節方式とは？>

人的操作により開閉するゲート設備は無く、大雨時はダムに水をため、ダム本体に開けた小さな穴(常用洪水吐き)でダムからの流出をしぼり込むことにより、下流河川の水位上昇を低減する、「自然調節方式」というものです。

### 下流下市毛地点での水位低減効果

